

平成 29 年度交通運輸技術開発推進制度 新規研究課題の概要

採択課題名	海洋分野の点検におけるドローン技術活用に関する研究
研究実施者 (※は代表者)	(一財)日本海事協会 ^(※) 、(国研)海上・港湾・航空技術研究所、ブルーイノベーション(株)、(株)ClassNK コンサルティングサービス
概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 海洋分野特有の気象海象下におけるドローンを活用した船舶、洋上風車及び港湾施設の点検手法を確立し、点検事業者向けのガイドラインを策定する。 ○ これにより、海洋分野における点検の安全性や作業効率性の向上を図る。

採択課題名	安全で効率的な航空機の冬季運航を目指した滑走路雪氷モニタリングシステムの技術開発
研究実施者 (※は代表者)	宇宙航空研究開発機構 ^(※) 、北見工業大学、(株)三菱スペース・ソフトウェア
概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ AI・光センサの先進的な技術を融合させ、滑走路の雪氷状態(雪質、厚さ)をリアルタイムかつ高精度に把握するための滑走路雪氷モニタリングシステムの開発を行う。 ○ これにより、滑走路の閉鎖・除雪のタイミングを客観的に判断でき、航空機運航の安全性向上や空港運用(滑走路点検及び除雪作業)の効率化を図る。

採択課題名	自律型海上輸送システムの技術コンセプトの開発
研究実施者 (※は代表者)	三井造船(株) ^(※) 、(国研)海上・港湾・航空技術研究所、(株)商船三井、東京海洋大学、(一財)日本海事協会、(一財)日本船舶技術研究協会、(株)三井造船昭島研究所
概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 船舶の自動・自律運航技術の導入による安心・安全で効率的な海上輸送システムの実現に向け、自動運航船の技術コンセプトを構築し、自律化レベルを具体化するとともに、必要となる技術の開発ロードマップを策定する。 ○ これにより、自動運航船による自律型海上輸送システムの社会実装に向けた道筋が明確になり、実現に向けた国際基準の策定を進めるとともに、必要となる技術開発・実証を促進する。

採択課題名	新型航空保冷コンテナの開発による内際空路コールドチェーン網の構築
研究実施者 (※は代表者)	東プレ(株) ^(※) 、トプレック(株)、ヤマト運輸(株)
概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 蓄冷型冷凍装置や設定温度可変機能を搭載した国際規格の航空保冷コンテナ及び小型航空機用保冷コンテナの開発を行う。 ○ これにより、国内から海外までの一貫したコールドチェーン物流の提供を可能とし、我が国農水産物の輸出拡大に資することとなる。